着せ替えシート

decotto

New Model？ No, It's decotto.

貼付説明書

ネットショップ マックハリアー

●本店
http://www.mach-hurrier-shop.com
●楽天市場店
http://www.rakuten.ne.jp/gold/auc-machhurrier
●ヤフーショッピング店
http://store.shopping.yahoo.co.jp/machhurrier/
●Amazon店（マックハリアーで検索！）
http://www.amazon.co.jp

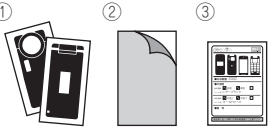
貼付作業の前に

お買い上げありがとうございます。本書は着せ替えシート「decotto」の貼付説明書です。貼付作業を行う前に、一通り読んでいただくと、スムーズにお貼りいただけます。貼付動画もございますので是非ご覧下さい。

- 各パーツや道具等を確認しておきましょう。
- 本体の汚れは、貼付前にキレイに拭き取っておきましょう。

CHECK

内容物の確認



①着せ替えシート

②転写フィルム（透明）※

※シート貼付時の道具としてお使い下さい。使用方法は貼付手順②を参照下さい

③商品内容を記載した紙

商品シルエットやシート名、ドライヤーマーク等の情報を記載

必要な道具

●スキージー※

貼付をサポートする道具（あると貼りやすくなります）

※不要になったキャッシュカード等にメガネ拭き等を巻き付けた物でも代用可

●はさみ

（必要に応じて使用）

●ドライヤー

ドライヤーによる熱処理が必要な機種の場合

※機種及びシートによって、内容が異なる場合がございます。※商品内容を記載した紙に専用の貼付説明書が付いている場合はそちらも併せてご覧下さい。

1 ドライヤーマークについて確認！

商品内容を記載した紙の、商品シルエット部分及びドライヤーマークと注意書きをよくご確認の上、貼付作業に入って下さい。

商品シルエットが赤線で囲れている →	ドライヤー処理が必要 赤線箇所を貼付手順③又は④に従い、温めてから貼付
商品シルエットが青線で囲れており専用説明書付属 →	ドライヤー処理が「軽く」必要 青線箇所を付属の説明書に従い、「軽く」温めてから貼付
商品シルエットが線で囲れていない →	ドライヤー処理は不要 貼付手順②又は④に従い、貼付

※ドライヤーの要不要は機種や形状、シートの種類等によりそれぞれ異なるため、商品内容を記載した紙をよくご確認下さい。※不要の場合また線で囲まれていない箇所へのドライヤー処理はシートが変形する恐れがあるので、基本行わないで下さい。

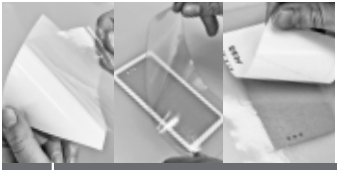
❷ 貼付手順：平面部分編

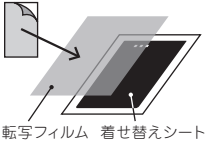
2-1 転写フィルムに着せ替えシートを転写します。

転写フィルムを裏紙からはがし、着せ替えシートを転写させ、転写したシートの裏紙をゆっくりはがします。

POINT

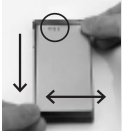
表面・裏面は中央、内面上は下ギリギリ、内面下は上ギリギリに転写すると貼りやすくなります。



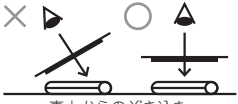


2-2 真上からのぞき込み、貼る位置を決めます。

転写したフィルムを対角線上に持ち、位置決めをします。特徴的な部分を基準に、縦横のラインを垂直平行にします。



貼付箇所の中心にあるサブ液晶やカメラ・スピーカー等（特徴的な部分）3箇所ぐらいを基準に!!



真上からのぞき込む
（本体に貼り付かないよう注意）

POINT

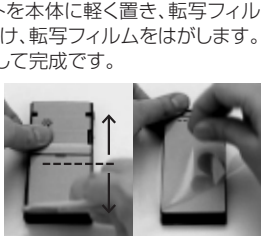
内面貼付の場合、本体が安定するように角度をつけたり、固定するとシートが貼りやすいです。

2-3 本体にシートを貼ります。

位置が決定したら、そのままシートを本体に軽く置き、転写フィルムの上からスキージー等で貼り付け、転写フィルムをはがします。後は各パーツごとに手順を繰り返して完成です。

POINT

中心から端へ空気を押し出すように貼りましょう。転写フィルムは、他パーツの貼付に再利用するので、捨てないで下さい。



③ 貼付手順：曲面部分編

3-1 曲面部分を残し、先に平面部分を貼付ます。

商品シルエットのドライヤー処理が必要な箇所（赤線で囲まれている曲面部分）を残して、先に平面部分のみを「②貼付手順：平面部分編」に従って貼ります。

3-2 浮いた状態にある曲面部分のシート粘着面をドライヤーで温めます。

平面部分貼付後、浮いた状態のシート粘着面を、ドライヤーでしんなりと柔らかくなるまで温めて下さい。

POINT

シートは熱によって粘着力が増します。温める前に曲面を貼ってしまうと、シートが浮きやすくなり、はがれの原因となります。

WARNING

ドライヤーで温めすぎると、シートが変形したり本体にもよくありません。目安として、手が熱くならない程度に温めて下さい。

3-3 本体に沿って、指でなじませていきます。

柔らかくなったシートを本体形状に沿って、中央から端へ指でなじませるように押さえつけて下さい。

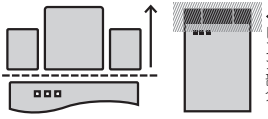
POINT

温めたけど浮いてきてしまった場合は、再度その部分のシート粘着面をドライヤーで温め、しっかりと貼り付けて下さい。

気泡・シワが残らないように

④ 貼付手順：ヒンジ部分編

ヒンジについて（付属機種のみ）



●シートが本体内部に入り込みますので巻き込みにご注意下さい
●はがれ等でご利用に支障が生じた場合はすぐにおはがし下さい

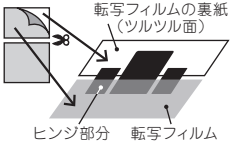
※ヒンジはちょうつがい部分の事です。※ヒンジ形状は機種により異なります。※商品内容を記載した紙に、専用のヒンジ貼付説明書が付いている場合は併せてご覧下さい。

4-1 粘着面に裏紙を半分程つけます。

転写フィルムを切り分け、ヒンジを図のように半分残した状態で転写し、シートの裏紙をはがします。転写したヒンジの粘着面に、はがした「転写フィルムの裏紙」を半分程貼ります。

POINT

粘着面にホコリ等が付かないようご注意下さい。シート厚がそれぞれ違うため、転写フィルムの裏紙を使うとスムーズに貼れます。



4-2 裏紙をパーツの形状に切り分けます。

シートにつけた転写フィルムの裏紙を、ピッタリとヒンジ形状に沿って切り分け、転写フィルムからはがします。この時、シートを切らないようご注意下さい。

余白等でピッタリ切らない場合、内部へぐぐらないことがございます

4-3 本体ヒンジに貼り、内部にくぐらせます。

粘着面の方を本体ヒンジに貼り、裏紙の付いた方を内部へくぐらせます。くぐらせたら裏紙をはがし、指でなじませます。後は各パーツごとに手順を繰り返して完成です。

POINT

ヒンジ部分にドライヤー処理指示がある場合、本体貼付前と裏紙をはがした後、シート粘着面をドライヤーで温めてからお貼り下さい。

Q&A

この他にご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい

Q1. キレイに貼るコツは?

手の油分やホコリ等は、気泡やはがれの原因です。貼付前に、毛羽立っていない布(メガネ拭き等)でキレイに落としましょう。

Q2. 凸部のある機種の貼付のコツは?

突起部が多い場合は、その部分にあたる転写フィルムをくりぬく等して、突起部を避けるようにしてお貼り下さい。

※転写フィルムはくりぬくと次に使えませんので、突起部分は最後に貼りましょう。

Q3. キレイにシートをはがすコツは?

シートを軽くドライヤーで温めた後、爪楊枝等でシートの角を軽くめくり、そこからゆっくりとはがして下さい。一気にはがしたり、爪で引っかいたりすると、本体を痛める原因になります。

※ドライヤーで温めることにより、糊残りが軽減されます。

Q4. はがした際に、本体に糊が残ってしまったら?

シートの糊残りは使用環境等により異なります。糊が残ってしまった場合は、市販のシールはがし液で拭き取って下さい。

※シールはがし液は専門店にご相談の上、お買い求め下さい。

ATTENTION

使用上のご注意

当店取り扱いのシートは、すべて強粘着タイプのため、はがす際に本体のメッキ部分や塗装の一部がはがれてしまう場合がございます。予めご了承下さい。

●作業中は電源を切って下さい。故障・破裂・感電等の原因となります●作業前に電池パックやメモリーカード・周辺機器等は外して下さい●ドライヤー使用時は火傷にご注意下さい●シートは防水ではありません。水分ははがれ等の原因となります

着せ替えシート物性値　●シート厚/約70～300μm (柄及び温度により、多少伸び縮みあり) ●粘着糊残留性/常温下で6ヶ月後はがした際糊残り無し (貼付期間・被着体等の条件により糊残りする場合あり) ●最適貼付温度/20～25度●寸法安定値/±約0.3mm以内

製造元 有限会社マックハリアー

〒003-0022 北海道札幌市白石区
南郷通8丁目南3-29 グランドコートビレッジ3F
Tel/011-861-7272 Fax/011-861-5958
E-mail/sale@mach-hurrier.com

※仕様及びデザインは、改良の為予告なく変更する場合があります。
※万一、弊社商品のご利用で携帯ご本体に破損等が生じた場合、責任を負いかねますので予めご了承下さい。

プラ 袋　紙 台紙